

執筆要領

和文論文執筆要領

(2008年7月10日制定)

1. 投稿論文は、次の要領でワープロソフト等を用いて作成してA4判用紙に印刷し、記入済みの投稿カード1部を添えて編集委員会事務局に送付する。ただし原稿は、正原稿1部、副原稿3部の合計4部とし、副原稿には、氏名・所属・謝辞は記載しない。カラー原稿がある場合は、正・副原稿ともカラーコピーを用意する。なお、紛失などの事故に備えるために、原文コピーを一部、手もとに保管しておくこと。
 - 1) 投稿原稿は、A4版用紙を用い、本文は1行24字×50行×2段=2,400字、余白は上下23mm以上、左右20mm以上とする。当ホームページにある原稿作成フォーマットをダウンロードし、その書式を参考にして原稿を作成する。その際、表や図を著者の希望する位置に配置する。
 - 2) 活字は等幅の明朝体を基本とし、9ポイント程度とする。英文はTimes New Romanを使用し、10ポイント程度とする。
2. 投稿原稿は、現代かなづかいとし、常用漢字を用いること。欧文は原則として英語のみとする。なお、ローマ字のつづり方は原則としてヘボン式に従う。
3. 和文論文の内容区分および配列は次のとおりとする。

表題、著者名、所属機関名および所在地、Key Words、要旨、Abstract、本文(原則として、はじめに、目的、方法、結果、考察の順とする。ただし、結果と考察を一括して結果および考察としてもよい、謝辞を入れる場合は続けて記載)、引用文献の順とする。
4. 表題、著者名、所属機関名および所在地
 - 1) 表題、著者名、所属機関名とその所在地には英文訳を付け、原稿の先頭に記す。表題は論文内容を適切かつ簡潔に示すものとする。研究助成金の出所・場所、業績番号、大会発表年度などは脚注として記すが、副原稿には記さず、スペースを空けておく。
 - 2) 著者が複数で同一機関に所属する場合には著者名を連記し、次欄に所属機関名とその所在地を記す。著者が異なる機関に所属する場合は、著者名を連記し、その右肩に肩付き数字を付し、次欄に数字ごとに所属機関名とその所在地を記す。
 - 3) 上記和文記載に続けて英訳を付記する。表題は冠詞、前置詞、接続詞を除くすべての語の頭文字を大文字とする。著者名は、名、姓の順に書く、所属機関名とその所在地はイタリック表記とし、所在地は郵便物の届く住所でよい。
5. Key Words、要旨、Abstract

Key Words(英語・日本語)と要旨、英文Abstractは、英文の所属機関名と住所に続け、各2行空けて記載する。要旨と英文Abstractは研究結果を簡潔に要約したものとし、その長さは要旨が300字以内、Abstractが200語以内で途中で改行せずに一段落とする。
6. 本文
 - 1) 本文の主見出し(はじめに、目的、方法など)、副見出しは、ゴシック対を用いて左端から記す。著者の所属機関とその所在地(英文のみ)、動物・植物の学名などは、イタリック体で表記する。
 - 2) 本文中において項目細目別記号を用いるときは、1・、2・、3・、・、(1)、(2)、(3)

... , (1), (2), (3) ・ , i), ii), iii) . の順とする . 句読点は『 ,』『 .』とする . また句読点 , 括弧 , ハイフンなどは全角に書き , 数字は半角とする . 数字は原則としてアラビア数字 (= 算用数字) を用いるが , 熟語となっている数字は漢字とするものがある (例 : 二 , 三の例 , 一部分 , 一度 , 三つ) .

- 3) 文献を引用する場合 , 著者の姓と発行年を括弧で囲んで示す . なお , 著者名が 2 名までの場合は姓を列記し , 3 名以上の場合は筆頭著者らとする . また , 著者名 (欧字) は Times New Roman とする .
- 4) 一般化している外国語はなるべく片仮名 (+ 漢字) で書く . 物質名は原則として名称を略さずに片仮名 (+ 漢字) で書く . ただし , 複雑な有機化合物など化学式 , 英名を用いた方がわかりやすいときはその限りでない . 有機化合物名 , 酵素名 , 標準的実験方法などには略語 , 短縮形を用いることができる . その場合 , 論文中で最初に出る箇所でその完全な名称を記し , 以下で用いる短縮形を括弧に入れて示す .
- 5) 商標名 , 商品名は原則として使用せず , 特に表題での使用は認められない . やむを得ず使用する場合は , その有効成分などを括弧書きにより明示する . 英語の場合 , 最初の語の頭文字を大文字とする .
- 6) 計量単位はメートル法とし , 国際単位系 (SI Units) に従うことが望ましい . なお , 記号の後には略記を表すピリオドを付けない .

7. 引用文献の記載方法

- 1) 引用文献として列記するものは引用した論文に限る . 著者名のアルファベット順 (同一筆者については発表年度順) に並べ , 題名は省略せずに記す . 同一著者名 , 同一雑誌名が続いた場合 , _____ ・ _____ . Ibid , ibid などと省略しないで書く .
- 2) 私信や未発表のデータを引用する場合には , 引用文献として列記することなく , 本文中の引用箇所にそれぞれ (私信) , (未発表) などと記す . ただし , 投稿して受理されたものは印刷中 (In press) として列記する . 編集委員会は , 投稿者に In press の文献の提出を求めることがある .
- 3) 雑誌名などの短縮形は当該誌の指示に従う . 欧字単行本の表題は , 固有名詞を除いて最初の 語の頭文字のみ大文字とし , 他は小文字とする . 各巻を通じて頁数を付けてある場合は , 巻数のみで号数は記入しない .
- 4) インターネット上の情報の場合は , URL , 最新更新日 , 参照時の年月日を明記する .
- 5) 記載例

[雑誌の場合]

- 1) 遠藤まどか・三島孔明・藤井英二郎 : プランターでの植物栽培が脳波、心拍振動、感情に及ぼす影響 . 人間・植物関係学雑誌 1(1):21-24, 2001.
- 2) Goldberg D, Gornat B and Ber Y: The distribution of roots, water, and minerals as a result of trickle irrigation. J Amer Soc Hort Sci. 96:645-648,1971.

[書籍の場合]

- 3) 松尾英輔: 園芸療法を探る - 癒しと人間らしさを求めて - . pp.47-66. グリーン情報 . 1998.
- 4) Steel RGD and Torrie JH: Principals and procedures of statistics, McGraw Hill, pp.202-240, 1960.

[インターネット上の情報の場合]

5) ジャーナル太郎：園芸療法の効果： ホームページ<<http://abc.def.or.jp>>,2008.4.1
更新 .

8. 本文中の表，図，写真の作成は次のとおりとする .
 - 1) 表，図（写真を含む）にはそれぞれ一連の番号を付ける . レイアウトに際しては，内容が十分読みとれるよう大きさや解像度に留意すること . 表題，説明は ピリオドで終わる .
 - 2) 表・図本体中では，物質名などのほか適宜標準的短縮形を用いることができる（例：On ., Wt, COnCn, diam, vol, ht, fr, FW), 図，写真は下側に，表は上側に各々図表番号と表題を明記すること .
 - 3) 表の表題は表本体の上側に置き，表の内容を確実に表すものとする . 表中のけい線は見やすいように少なくする .
 - 4) 図や写真の表題は下側に置き，内容を十分に表すものとする . レイアウトでは図(表)の幅は原則としてページ幅またはページ幅の半分とする . カラー写真刷りを希望するときは，経費は著者負担となる .
9. 最終稿には，表や図，写真を含むすべての原稿のデータを入れた CD ,MO などを添付する . その際，使用したソフトウェアの名称を明記すること .